

# 施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造	担当部局名	部局長名
	施策	1	低炭素社会	地域環境部	田中 明子

## 1. 施策の基本方針 **P**lan

○ 人間の社会経済活動が地球温暖化に影響をもたらしています。市民の環境問題についての理解を深め、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で省資源・省エネルギーに取り組むとともに、相互に連携・協働して低炭素社会の構築を目指します。

## 2. 現状と課題 **P**lan

○ 市民の省資源・省エネルギーへの関心は高いものの、気候変動に伴う近年の猛暑等に対応するため、エアコンをはじめ冷暖房設備の使用が避けられない状況です。  
 ○ モータリゼーションの進行により、自動車による移動が基本となっているなか、さらに自動車交通への依存が進み環境負荷が増大する恐れがあります。  
 ○ 環境への理解を深め、できる省エネ行動を実践するとともに、エネルギー政策の基本的行動指針である「スマートシティなばりエネルギーアクションプラン」に基づき再生可能エネルギーの導入を進め、人と自然とエネルギーの調和するまちを目指します。

## ○ 施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合（％）	目標	-	-	-	90.0	
	成果	87.4	85.6			0.0%
環境マネジメントシステム導入事業所数（事業所）	目標	-	-	-	20	
	成果	18	18			0.0%
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	目標	-	-	-	12,277	
	成果	12,789	12,559			44.9%

## 3. 課題解決への取組内容（平成28年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>「スマートシティなばりエネルギーアクションプラン」に基づく取組を進めます。</li> <li>名張市環境マネジメントシステムの更新を行います。</li> <li>クールビズ・ウォームビズの実施やエコ通勤・ノー残業デーの取組を継続します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートシティなばりエネルギーアクションプランの推進項目の一環であるクリーンエネルギー自動車（CEV）の普及促進のために庁舎駐車場へ設置（H26.12）した電気自動車用急速充電器の利用回数が前年度比で3%向上しました。（H27年度1,760件・H28年度1,817件）</li> <li>エコ通勤の取組において、職員への声かけ等により、実施率が前年度比で5.5%向上しました。</li> </ul>

## 4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

・ 現行のスマートシティなばりエネルギーアクションプランの効果的な推進を行い、平成30年度以降のプランを作成する必要があります。  
 ・ エコ通勤デーの実施率を向上させ、さらに多くのCO<sub>2</sub>を削減し、市民や事業者への啓発につなげます。

## 5. 課題解決への取組内容（平成29年度） **A**ction

・ 現行のスマートシティなばりエネルギーアクションプランの効果的な推進を行うため、市が省資源・省エネルギー行動（エコ通勤デー・ノー残業デーライトダウンキャンペーン・庁舎窓へのグリーンカーテン設置・イベントや環境新聞での啓発等）を積極的に実践し、市民や事業者に対し、啓発します。また現状をふまえ、平成30年度以降のプランを作成します。  
 ・ エコ通勤デーを地球温暖化対策と同時に職員の健康増進を図る目的で、運動に適した気候の10月（体育の日の属する月）に実施することにより、実施率のさらなる向上を目指します。

## 6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

市民、事業者等が環境保全への関心を高められるよう、環境保全に向けて実践事業のより効果的な周知啓発に取り組むこと。